

(財)地震予知総合研究振興会

柏崎地域の地形及び地質構造の形成過程に関する検討委員会（第五回）

概要報告

1. 日時 平成23年2月22日（火） 14:00～16:30

2. 出席者

主査	山口大学大学院	教授	金折 裕司
委員	徳島大学大学院	教授	村田 明広（構造地質）
	東京大学地震研究所	助教	蔵下 英司（陸域地殻構造）
	東京大学地震研究所	助教	石山 達也（変動地形）
	千葉大学大学院	教授	伊藤 谷生（構造地質）
	産業技術総合研究所	研究グループ長	荒井 晃作（海洋地質）
	産業技術総合研究所	研究員	丸山 正（活断層）
	海洋研究開発機構	サブリーダー	高橋 成実（海域地殻構造）
事務局	(財)地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. テーマ

- (1) ひずみ集中帯の変動地形・活断層
- (2) これまでの議論の中間とりまとめ

#### 4. 委員会の状況

柏崎地域の褶曲形成史を解明する上で重要な情報となると考えられる、ひずみ集中帯プロジェクトの研究成果をもとに、佐渡島・新潟平野の地質構造について議論した。また、前回までに各委員から出された意見をもとに、論点の整理がなされた。

今後は、整理された論点について、引き続き検討していくことが確認された。

##### (1) ひずみ集中帯の変動地形・活断層

文部科学省のひずみ集中帯プロジェクトにより明らかになりつつある佐渡島・新潟平野の活断層・変動地形について話題提供が行われた。これまでの研究成果から、この地域の活褶曲の多くは上部地殻を断ち切る逆断層とそこから派生する断層の上盤側に生じる断層関連褶曲の形態を呈していることが明らかにされた。また、角田-弥彦断層など、この地域の逆断層のなかには、顕著な広域沈降運動のために伏在するものが多いことも紹介された。

##### (2) これまでの議論の中間とりまとめ

過去の議論を踏まえ、各委員からのコメントに基づき、①中越沖地震への断層関連褶曲の考え方の適用性について、②柏崎地域の褶曲軸のマイグレーションと震源断層の空間分布について、③中越地震、中越沖地震を規定する地下構造について、の大きく3つの論点に整理された。今後も、整理された論点について、引き続き最新の研究成果を参照しつつ検討していくことが確認された。

以 上